地理空間スクリプトビルダー



ビルダーの操作



ビルダーのキャンバスにコンポーネントを追加する

- (1) リストのツリーを使って希望するクラスや関数を探します。
- (2) クラス名や関数名の上で左クリックします。その周囲に枠が表 示され、選択されたことが示されます。(マウスの左ボタンクリッ クした後ボタンを放します。ドラッグは不要です。)



コンポーネントの移動、最小化、最大化

ビルダーキャンバス内でクラスや関数を表す ボックスを移動するには、そのタイトルバーを ドラッグします。

🛃 1 🔷 гус	
Construct	
▶ ObjIten	Minimize
▶ component	
Initialize	err 🕨

🕨 🛃 rvc 🕨 タイトルバーの [最小化 (Minimize)] アイ コンボタンを左クリックするとコンポー

ネントボックスが小さくなります。

最小化したコンポーネントボックスの上にマ **ト 呉**rvc ウスを持ってくるとその時だけボックスの内 容(クラスや関数)を表示します。 -時的に表示したボックスのタイトルバーの [最大化 (Maximize)] ボタンを左クリックす るとキャンバス上に詳細なボックスが戻りま す。

No. of the second se		
<mark>়</mark> 1 🗣 rvc		
Construct	- K •	
▶ ObjIten	Haxi	nize
component		
Initialize	err 🕨	

🛃 1 븆 rvc 📃 🔀

Construct

▶ObjIten

component Initialize err 🕨

2 つのコンポーネントの接続(別のコンポーネントの入力 としてコンポーネントをセットする)

🛃 3 🔷 гус 🗌 🔀	🐙 6 🌲 tiff	
Construct 📐	Construct	•
<code>▶rvc_objiten (ObjIten)</code>	InputStage	
⊳component / Output	🔰 🕨 🕨 🕨 🕨 🕨 🕨 🕨	lepath)
Initialize er r 🕨	/ ▶ geoformat	-
	/ Initialize	err 🕨
	Process	err 🕨
	ShowStatus	
\sim /		
(1) ビルダーキャンバスで、入力として	「使うクラスや閏数σ	ボックス

に注目します。ボックスの右上隅(タイトルバーの下)にある出力 の矢印を左クリックします。この矢印の色が灰色からオレンジ色 に変わると、接続の準備ができたことを示します。(左クリック後 にマウスボタンを放します。ドラッグする必要はありません。)

🛃 3 🔷 🛛 гус			🯓 6 🌲	tiff	
Construct	-		Construc	:t	•
rvc_objitem	(ObjIten)	×	🕨 Input	otage	
component			🕨 filepa	nth (fi	lepath)
Initialize	err 🕨		eof or	mat	
		/ /	Initiali	ize	err 🕨
	/		Process ShowSt	atus	err 🕨

(2) 出力の矢印の始点から入力に設定するコンポーネントボックス 左側にある入力の矢印までマウスを移動します。 矢印の始点から線が自動的に引かれます。

🧏 3 🌲 rvc 🛛 🔼		🛃 6 🌲	tiff	
Construct		Constru	ct	•
rvc_objiten (ObjIten)		Prvc (InputSta	age)
▶ component	/	Nilep	ath (fi)	lepath)
Initialize err 🕨	/	Input	rnat	
		Initial	ize	err 🕨
		Process		err 🕨
		▶ ShowS	tatus	
- /				
(3) 入力ステージ (Input Stag	ge) の矢印で	左クリッ	クをする	と接続が

完了します。始まりの矢印と終わりの矢印が両方とも緑色にな れば接続が完了したことを示します。

(次ページに続く)

コンポーネント間の接続の切断

パイプラインフィルタの追加のような、追加コンポーネントを挿入 するような変更を加えたい場合は接続されているコンポーネントを 分離できます。

🛃 3 🔷 🛛 гус		5 🗧	tiff	
Construct	•	 Constru	ct	•
rvc_objitem	(ObjIten)	No C	[nputSt	age)
component		🔊 💦 ilep	ath (fi	lepath)
Initialize	err 🕨	Input	rnat	-
		Initial	ize	err 🕨
		Process		err 🕨
		ShowS ¹	tatus	

(1) 接続線の終端の入力矢印を左クリックします。線の両端の出力 と入力の矢印がオレンジ色に変わります。

🛃 3 🛊 🛛 гус			🯓 6 🌲	tiff	
Construct	•		Construe	ct	•
rvc_objitem	(ObjIten)		🕨 nvc ()	InputSt	age)
component			🕨 filepa	ath (fi	lepath)
Initialize	err 🕨		eof or	rnat	
			Initial	ize	err 🕨
			Process		err 🕨
			ShowSt	tatus	

(2) マウスをビルダーキャンバスの空白域に移動します。マウスカー ソルに接続線がくっついてきます。何もない場所で左クリック します。下図のように表示していた接続線が消えます。

🛃 3 🖨 🛛 гус			🯓 6 🌲	tiff	
Construct	•		Construc	:t	•
rvc_objitem (Ol	jIten)		▶ InputS	Stage	
▶ component			filepa	nth (fi	lepath)
Initialize	err 🕨	/	▶ geof or	mat	•
		/	Initiali	ize	err 🕨
		/	Process		err 🕨
			ShowSt	atus	

関数やクラスメソッドにパラメータ値を設定する

Settings Code Description
Method Panameter Panameter Panameter Panameter
DigGetOb ject(Prompt, Ob jectTupes, Ob jItem) Prompt Ob jectTupes Ob jItem GetOb jectFlags
(1) ビルダーキャンバスでクラスや関数のコンポーネントボックス
し た 深 切し て た き し χ ン ド 白 下 部 の [設 宁 (Sottings)] タ ブ パ ラ
を送択してのと、ワインドワド部の[設定 (Settings)] メノバネ
ルヘマウスを移動し、[バラメータ (Parameter)] カラムのトに
表示されている文字列(入力セル内のテキスト)を左クリック
1 年古
Settings Code Description
Nethod Parameter Parameter Parameter Parameter
Digaeconjectivnompt, onjectigpes, onjitem intompti onjectigpes onjitem deconjectitags
(2) ハラメーダが数値や文字列でめらかしの設定された値でなけれ
🎽 ば、パラメータのフィールドは直接入力できます。テキスト編
集時のカーソルは入力セル内のテキスト末尾に配置されます。
入力わし内のテキフトを選択しパラメータ値を入力します。文
字列用のフィールトに対しては SML スクリフト内 ぐそのハラ
メータの前後に自動的に引用符が付きます。
Settings Code Description
Method Parameter Parameter Parameter Parameter
DlgGetObject(Prompt, ObjectTypes, ObjIten) Choose image: ObjectTypes ObjIten GetObjectFlags
ExistingOnly
(3) 選択肢が指定されているパラメータの場合
とメニューがボップアップするので、そこか
ら適切なものを選びます。
ユーザが指定した関数のパ 📑 2 🏶 DlgGetObject 📃 🔀
ラメータはビルダーキャン ▶"Choose image:" (Prompt) err▶
バスの関数ボックス内に表 ▶"Paster" (ObjectTures)
示されます。 Prvc_objiten (Ubjiten)
"ExistingOnly" (GetObjectFlags)

クラスメソッドの追加

多くの SML クラスでクラスデータを処理するためのメソッド (クラ ス関数)が提供されています。SML スクリプトビルダーではこうし たオプションメソッドをクラスに追加できます。

Settings Code Description	
Nethod	Parameter Parameter Parameter
IMAGE_PIPELINE_TARGET_TIFF(InputStage, filepath) rvc filepath geoformat
Initialize()	ChauCtatur
Add method	Showstatus
 ビルダーキャンバス内でクラスボ パネルの[メソッドの追加(Add me 	ックスを選択し、[設定] タブ ethod)]を左クリックします。
	Settings Lod, SetParns(Parns)
(2) ポップアップメニューより必要	Method GetFilePath()
キャーフィンションを読むます	IMAGE_PIPELIN QueryGeoFormat(GeoFormat, Message)
なクラスメソットを選びます。	Initialize() GetGeoFormats()
	Process() Initialize()
🛃 6 🖨 tiff 🗌 🔀	Had Hethod Process()
Construct	Process(section)
	GetNunSamples()
FVC (InputStage/) (ilenth (Cilenth))	GetTotalColumns()
P filepath (filepath)	GetTotalRows()
P geoformat	GetGeoreference()
Initialize err 🕨	GetPixelType()
Process err 🕨	GetPixelProperties()
ShowStatus	GetPixelValueMax()
SetParms	GetPixelValueMin()
▶ Parns	ComputeGeoreferenceRegion(Region)
Settings Code Description	
Method	Parameter Parameter Parameter
<pre>/ IMAGE_PIPELINE_TARGET_TIFF(InputStage</pre>	, filepath) rvc filepath geoformat
/ Initialize()	
Process()	ShowStatus
(SetParns(Parns)	Parns
選択したメソッドが[設定]パネル	のリストに追加され、ビルダー

キャンバスのクラスボックスの中にも表示されます。

入力や出力用 RVC オブジェクトのプロンプトを追加する

- Market Street S (1) RVC ソースやターゲットボックスの Objltem パラメータエントリを右クリック ▶ comp Add new: Initia RYC_OBJITEM します。 Prompt for obj
- (2) 表示したメニューから [オブ 📑 2 🖨 DlgGetObject 🗌 🔀 ジェクトのプロンプト (Prompt for object)] を選択します

🌄 1 🔷 г Construc

クノト (Prompt 択します。	 Prompt ObjectTypes rvc_objiten GetObjectF1a 	err⊳ (ObjIten) ags
vc_objiten 🗌 🔀 t	🍠 3 🛊 гис	
	Construct rvc_objiten component	(ObjIten)
	Initialize	err 🕨

🧏 0 🗣 tiff 🗔 🔀 Construct InputStage filepath

▶ geo Initi Proce

Sho Prompt for input file

Prompt for output file

7 🔺 ++00

- (3) キャンバスに rvc_objitem クラスと DlgGetObject 関数のボック スが追加されます。
- (4) [設定]パネルで DlgGetObject 関数用のプロンプト (Prompt)、 オブジェクトタイプ (ObjectTypes)、GetObjectFlags パラメータ 値を設定します。

入出力ファイル用プロンプトを追加する

- (**1**) ソースやターゲットのボックスの [ファイルパス (filepath)] パラメータ エントリ (例では TIFF ターゲット)を 右クリックします。
- (2) 表示したメニューより入力ファイル (ソース)や出力ファイル(ターゲット) 用のプロンプトを選択します。

📑 1 🗕 GetOutputFileName 🗌 🗙	∑ 2 ♦ filepath	Construct
▶ default\$ str ▶	GetOutputFileName (str)	geoformat
prompt\$	▶\$►	Initialize err 🕨
▶ ext\$		Process err ► ► ShowStatus

- (3) ファイルパスクラスや GetOutputFileName 関数のボックスが キャンバスに追加されます(上図)。
- (4) [設定] パネルで GetOutputFileName 関数のパラメータ default\$、prompt\$、ext\$ の値を設定します。